

# 平成26年度 小千谷市理科部 活動報告

部長 鈴木 康幸

## 1 研究活動の方針・テーマ

小千谷市の学校教育におけるスローガン「心豊かにたくましく生きる小千谷の子ども」の具現を目指し、教員の資質能力を高め合い、指導力の向上に努めている。

理科部では、「子どもが進んで学び、追究していくための授業改善」をテーマに研修に取り組んだ。

## 2 研究活動の概要

市の教育研究会として、市内小学校の全教員が国語・社会・算数・理科の4部会に所属しており、理科部会としての研修会を2回開催した。

## 3 研究活動の実際

### (1) 第1回理科部会 4月23日(水)

- ◎ 本年度の研修についての計画・立案、及び、内容の共通理解

### (2) 第2回理科部会 8月21日(木)

#### ① 学年別グループ研修・情報交換

<3年>

- ・新内容「風・ゴムのはたらき」「ものの重さと体積」における教材や導入の工夫について
- ・平成27年度の新しい教科書について

<4年>

※参加者数が少なかったため、6年グループで研修した。

<5年>

- ・「流れる水のはたらき」に関わる現地研修（茶郷川・信濃川）

<6年>

- ・1学期の実践「植物のはたらき」「ものの燃えかたと空気」における教材や指導上の留意点について

#### ② 全体研修

- ・学年別グループごとの研修内容についての発表
- ・平成24年度全国学力調査における理科の調査問題について

## 4 成果と課題

- 学年別グループでの研修では、1学期に実践してきたことを踏まえて、教材や導入の工夫、実験・観察のポイント、指導する際に留意したこと等、具体的な内容について協議・情報交換ができ、有意義な研修となった。
- 初めて今回、5学年で現地研修を行った。普段なかなかできないので、よい機会となった。地域の教材について他校の参加者と一緒に観察・調査して、新たな視点等を得ながら教材研究を深めることができた。地域に根差した理科学習を充実させるために、今後も現地研修を大切にしていきたい。
- 2年前に実施した全国学力調査の問題を目にすることによって、来年度3年振りに行われる理科の全国学力調査に向けて、参加者の意識を高めることができた。